

日時 : 2026 年 3 月 25 日 (水) 18:00-19:30

場所 : オンライン

<https://us06web.zoom.us/j/82879339060?pwd=tKIT8MEXh89S46ZmaUfe8qVt2PYamN.1>

司会 : 筒井智嗣様 (JASRI)

出席者 : (順不同、敬称略) 河村、大和田、田村、萩原、moto m、松井、上村、吉澤、井原、永井、喜久田、小林、前川、満汐、友野、筒井、山崎

本日の議題 :

1. 代表・副代表・運営委員の人事
2. 領域再編の現状について
3. 領域内の運営委員について
4. 各種データ
5. 学生優秀発表賞
6. 領域委員会報告
7. その他

* 格子欠陥・ナノ構造分科は格子欠陥分科に名称に変更いたしました。

1. 代表・副代表・運営委員の人事

次期領域正副代表 (2026/4 ~ 2027/3)

- 代表 田村 友幸 先生 (格子欠陥、名工大)
- 副代表 大和田 謙二 先生 (誘電体分野、QST)

次期 連絡委員

- 山崎 貴大 (格子欠陥、横国大) 2026/4 ~ 2026/10

次期 分科運営委員

- 大石 栄一 (誘電体、立命館大) 2026/4 ~ 2027/3
- 吉澤香奈子 (格子欠陥、RIST) 2026/4 ~ 2027/3
- 高阪 勇輔 (フォノン、大阪公立大) 2026/4 ~ 2027/3
- 三井 真吾 (X線・粒子線分科 X線、滋賀大) 2026/4 ~ 2027/9

次々期 分科運営委員 後程、議論
関連事項の物性領域の領域再編について

2. 領域再編の現状について

2月下旬頃より、学会理事を中心としたワーキンググループが立ち上がり、現在物性領域の再編の議論が進行中

議論内容

いつから領域再編の話が出てきたのか？

→ 当初は分科再編のみ、領域再編の議論が始まったのは、年明けでのWG

→ 領域10での分科再編の議論が、領域再編に展開したという背景がある。

理事の雰囲気はポジティブかネガティブか？

→ 現在、宮下会長が働きかけてポジティブに動いている

領域の再編を議論するのは元々の取り決めでもある

宮下物理学会長の発案で「構造物性」をキーワードとした再編を検討中

対象領域：

領域1（放射線）、領域5（光物性）、領域6（金属）、

領域9（表面・界面、結晶成長）、

領域10（誘電体、格子欠陥、フォノン、X線・粒子線）

2～3程度の「新たな」領域への再編を検討中

現在、各領域に再編に向けた有識者への意見聴取中

今後は、各領域から全体の動向等が説明可能な有識者若干名を選出して、再編に向けた本格的な議論を予定
（夏頃を目途）

領域10は、筒井が会長・理事からの指名で確定

審議事項：あと2人程度を選出予定

• 大和田先生（誘電体、QST）

• 田村先生（格子欠陥、名工大）

※西谷先生には、困った際に助けていただく（承諾）

※個別の事象が発生した場合は、サブ分科を通じて意見集約

領域再編を見据えた次々期委員の選出について

委員の選任時期と領域再編WGの議論が重なったため、選任の指示が遅れています。

一つの案として、量子ビームと構造材料（1つか2つの領域）があるので、任期は現分野の任期をベースとして選任を

運営委員の人数の決定にルールはないので、少なくしていくのは新分科で要相談

議論内容

中性子・ミュオンの運営委員が前川先生（陽電子）を推薦する

事務手続きは今まで通り

年度が替わってから、運営をどのようにしていくかということを検討して、田村先生に繋いでいく。

4. 各種データ

2026年春季大会 概要集提出率

領域	講演者数	論文提出数	論文提出率
素粒子論領域	129	85	65.8%
素粒子実験領域	184	154	83.6%
理論核物理領域	79	64	81.0%
実験核物理領域	168	157	93.4%
宇宙線・宇宙物理領域	163	132	80.9%
領域1	96	93	96.8%
領域2	62	60	96.7%
領域3	110	106	96.3%
領域4	57	55	96.4%
領域5	77	72	93.5%
領域6	73	72	98.6%
領域7	75	74	98.6%
領域8	194	187	96.3%
領域9	72	70	97.2%
領域10	43	41	95.3%
領域11	200	189	94.5%
領域12	65	63	96.9%
領域13	67	65	97.0%
理事会企画	2	2	100.0%
合計	1916	1741	90.8%
物性合計	1191	1147	96.3%
素核宇合計	723	592	81.9%

議論内容

概要集を提出すると、不測の事態で学会が開催できなくなったときに、発表したことにできる。

5. 学生優秀発表賞

現在、選考作業中です。

但し、

今回は多くの応募者が書類の不備があり、審査に進めませんでした。以下の理由で救済措置はしませんでした。

- ・きちんと応募要領を理解している方がいたこと
- ・応募者が要件を満たしているかどうかの判定が必要
- ・審査委員の手配が必要

ということで、改めて周知いたします。

領域 10Web ページ記載事項

学生優秀発表賞

日本物理学会では、年次大会もしくは春季・秋季大会において優れた講演を行った学生に対し、学生優秀発表賞を授与しております。審査は領域ごとに行われ、それぞれ独自の審査基準が設けられております。領域10の応募資格と応募手順は以下の通りです。

【応募資格】

- (1) 物理学会の会員であること
- (2) 大学・大学院または同等の機関に所属し、学部・修士・博士課程に在籍していること
- (3) 領域10にて過去に1回以上、筆頭著者として口頭発表もしくはポスター発表した実績があること
- (4) 今回の発表が口頭発表（筆頭著者かつ登壇者）であること

【応募手順】(2025年10月改正)

1. 講演申込時の手続き
 - ・講演(口頭発表)の申込時に、「学生優秀発表賞を希望する」にチェックを入れ在籍中の課程と学年を記載してください。
2. 概要提出後一週間以内
 - ・下記の申請書と実績のエビデンスを提出してください。
 - ・エビデンスは概要集に掲載された概要もしくは講演プログラムのコピー(pdf)です
 - ・提出先は領域10の連絡責任者です。現在の連絡責任者は[こちら](#)をご確認ください。
 - ・[募集要項\(2025年10月改正\)](#)
 - ・[申請書](#)
 - ・[これまでの受賞者一覧](#)

どのようにすれば、事務局の負担を減らして審査に必要な書類が応募する学生から集められるか？

要望（誘電体 IM での議論内容）

提出物（申請書と実績のエビデンス）を出すように言われても、出すタイミングがわからない場合がどうしてもある。学生賞の対象者として希望するというチェックがあれば、そのままシステム上で申請書、エビデンスが必要であることを学生に送ることはできるか？確認のメールを出すべきではないか？自動的に確認のメールが届くようにできるか？

対策案

- ・ 領域のメーリングリストにリマインド
- ・ 指導教員にメールを送る
- ・ 講演申し込み Web 上で、「応募する各領域の Web を確認すること」という文言を入れる。
→学会の方のシステムの改修の手間が発生する？
- ・ **申込開始時と申込メ切時に領域 ML で周知する（連絡委員の仕事）**

その他議論内容

学生が発表申し込み時、希望しますのところに、領域 10 の web ページを見るというアナウンスがあるのか？

→学生優秀発表賞、詳細については、各領域の web ページを見てくださいという案内がある（学会事務局に確認済）。気なしにチェックを付けただけの学生にはわからずに対象者から外れてしまう。

6. 領域委員会報告

日時：

2025 年 12 月 3 日（水）13:00-17:30（Zoom によるオンライン開催）

参加者：

大会開催担当理事 + 各領域代表

オンライン大会におけるポスター発表形式の変更について

ショートプレゼンを実施後に、従来通りのブレイクアウトルームに入室する方法について、募集要項をもとに確認した。セッションの時間帯の選択や細かい運用については、領域の裁量で調整可能。また、発表形式変更の認知を促すために名

称を変更することも提案された（例としてショートプレゼンテーションに加え、ライトニングトーク、フラッシュトーク等の案が挙げられた）

1. 2026 年春季大会 領域横断（理事会）の採択

領域横断（理事会）： 2 件採択（企画講演）、0 件不採択

2. 2026 年春季大会 素核宇ビ・物性領域 企画提案の採択

・素核宇ビーム領域プログラム小委員会採択結果についての報告

招待講演： 1 件採択、0 件不採択

企画講演： 15 件採択、0 件不採択

シンポジウム（一般）： 3 件採択、0 件不採択

若手奨励賞記念講演： 4 件採択、0 件不採択

物性領域プログラム小委員会採択結果についての報告

招待講演： 5 件採択、0 件不採択

チュートリアル講演： 3 件採択、0 件不採択

シンポジウム（一般）： 6 件採択、0 件不採択

シンポジウム（共催）： 1 件採択、0 件不採択

若手奨励賞記念講演： 13 件採択、0 件不採択

AAPPS-JPS Award 受賞記念講演： 1 件採択、0 件不採択

議論内容

今回のポスターで何か問題等あったか？ 領域 8 では、ショートプレゼンテーションだけで、50 分も間延びしてしまった。
→特に問題はなかった。領域 10 では 4 名だったこともあるが、一人 50s 程度で終わってくれたのでスムーズだった。

今回からポスターの事前提出はなくなった。

7. その他

議論内容

分科の名称について、今日で決定になるのか？「格子欠陥・ナノ構造」の名称で、ナノ構造はいるか？

→昔、どこかのタイミングで「格子欠陥」に、「ナノ構造」がなぜかついた。ナノマシンに流行っていた 1990 年代についた。

→みじかい方がいい

→サブ分科名からはナノ構造を外して、「格子欠陥」のみにする